

# 表現運動系領域部会

## 実証授業資料

表現運動系部会 研究主題

一人一人がなりきって踊ることの楽しさを味わい、題材の特徴をとらえて踊りを工夫することができる表現リズム遊びの学習



日時	平成 27 年 10 月 27 日 (火) 13 時 45 分～
場所	江戸川区立篠崎第三小学校 体育館
単元名	表現リズム遊び 1 年 「しの三ランドにいこう」
指導者	浦郷 理恵 教諭
講師	東大和市教育委員会 統括指導主事 小板橋 悦子 先生
ホームページ	<a href="http://www3.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1350006">http://www3.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1350006</a>

平成27年度 表現運動系領域部会 実証授業資料目次

<p>P 1 P 2 P 3 P 4～5</p>	<p>1 研究の構想                  (1) 研究主題                  (2) 主題設定の理由                  (3) 研究内容                  (4) 研究構想図                  (5) 授業づくりの基本的な考え方</p>
<p>P 6  P 7  P 8～9</p>	<p>2 「思考・判断」の指導内容に関する指導資料                  (1) 6年間の「思考・判断」の系統性                   (2) 具体的な学習活動の例                  (3) 思考・判断を促す言葉かけの例                  (4) 本単元における思考・判断の指導と評価</p>
<p>P 10 P 11 P 12</p>	<p>3 研究内容                  (1) 課題解決的な単元計画                  (2) 学習活動に即した指導と評価                  (3) 表現運動の特性</p>
<p>P 13  P 14  P 15～16 P 17～21 P 22 P 23</p>	<p>4 学習指導案                  (1) 単元名                  (2) 単元の目標                  (3) 単元の評価規準                  (4) 運動の特性                  (5) 児童の実態                  (6) 単元の指導と評価の計画                  (7) 一単位時間の流れ                  (8) 本時の展開                  (9) 評価に至るまでの具体的な手だて</p>

# 1 研究の構想

## (1) 研究主題

東京都小学校体育研究会研究主題

「一人一人が学ぶことの楽しさを味わい、進んで運動に取り組む力を身に付ける体育学習」

表現運動系領域部会研究主題

「一人一人がなりきって踊ることの楽しさを味わい、題材の特徴をとらえて踊りを工夫することができる表現リズム遊びの学習」

研究主題を構成するキーワード

一人一人がなりきって踊ることの楽しさを味わう

題材からイメージしたものになりきって全身の動きで表現したり、軽快なリズムの音楽に乗って踊ったりして楽しむこと

題材の特徴をとらえて踊りを工夫すること

表現遊びやリズム遊びの動き方を知り、題材の特徴にあった動きを選んだり見付けたりすること。また、友だちのよい動きを見付けること。

## (2) 主題設定の理由

昨年度は、低学年での課題解決的な学習の仕方に重点を置いて研究を進めてきた。本部会が考える課題解決的な学習とは、単元を「習得」「活用」「探究」に分けて構成した学習である。

「習得」の時間には、教師の言葉かけや友達の良い動きからイメージを広げて一緒に踊り、身に付けさせたい動き(題材の特徴をとらえた動き)に気付かせる。

「活用」の時間では、テーマを選んで身に付けた動きを生かして踊らせる。単元の前半に1時間に1つずつのテーマ(動物・昆虫)でそれぞれ「習得」「活用」の学習を行う。

単元の後半の「探究」の時間は、学習のまとめとして面白かったテーマの動きを発表し、全員で一緒にメドレー形式で踊る。

昨年度の実証授業では1年生対象に「動物ランド」の題材で行った。また、幼稚園・保育園での表現に関する実践を調査し、低学年の学習導入時に行う表現遊びの開発を行った。

成果として、次の二点が挙げられた。

- ・習得と活用の流れの学習を行ったことで、自然と動きを身に付けることができた。
- ・幼児期に行っていたリズム遊びを取り入れたことで、心と体を解き放して自然と踊ることができた。

課題として

- ・表現運動における「よい動き」とは何かが明確ではなかったことがあげられる。

今年度は、「表現」で身に付けさせたい「よい動き」を「思考・判断」の指導内容と関連させて分析し、児童の具体的な姿として提示していく。「よい動き」を引き出すためには、題材からいろいろなイメージをもち、その特徴をとらえて動きにする思考・判断が不可欠である。

本部会では、題材の特徴が表れるように踊りを工夫することを「思考・判断」とし、この工夫が表現運動の楽しさにつながると考え、本研究主題を設定した。

### (3) 研究内容

#### 研究の視点

##### ○「思考・判断」の指導と評価

昨年度の成果と課題を踏まえ、「運動が分かったり、工夫したりしてもっと楽しくなる」という「思考・判断」の指導と評価を切り口として、次の視点で研究を進めていく。

##### ①課題解決的な単元計画

・低学年の表現で身に付けさせたい動きを具体化し、「習得」「活用」「探究」の流れの中で確実に身に付けさせていく指導計画を作成する。

##### ②学習活動に即した評価

・「よい動き」を分析し、児童の具体的な姿として明らかにし、指導と評価の方法を指導計画に入れていく。

・表現運動における「思考・判断」の目標、学習活動に即した評価とその手だてを明らかにする。

##### ③幼稚園と小学校との連携

・幼稚園で実践されている表現遊びをウォーミングアップとして取り入れ、心と体のほぐしとする。

#### 具体的な研究内容

##### ①課題解決的な単元計画

##### ○「習得」「活用」「探究」の学習の流れ

- ・「習得」の時間では、動物や乗り物の特徴的な動きを教師のリードで行う。その際、各時間で扱う動物や乗り物は2～3つ程度とする。
- ・「活用」の時間では、今まで踊ってきた様々な動物や乗り物の中から好きなものを選び、動きを繰り返したり、誇張したりしながら、工夫して踊ることができるように指導していく。
- ・「探究」の時間では、単元前半で身に付けた動きをもとにして、全員一緒にメドレー形式で踊ることで、学習のまとめとしていく。

##### ○2時間ごと配分した時間設定

今年度は1つのテーマにつき、2時間ごとの配分で単元計画を考えた。

1時間目は「習得」の時間とし、いくつかの乗り物を教師のリードで踊らせ、身に付けさせたい動きを確実に習得させていく。次の1時間では、児童がやってみたい乗り物を選び、身に付けた動きを簡単な話にして踊るようにする。本部会が考える一年生での簡単な話とは、身に付けさせたい特徴的な動きをスローモーションにしたり、巻き戻したりするような簡単な変化をつけて続けて踊ることとする。

##### ②学習活動に即した評価

##### ○「よい動き」を「思考・判断」の指導内容と関連させて分析

- ・「思考・判断」の評価は、児童の内在的な内容なので、表出しにくく、評価が難しい。「思考・判断」の指導内容を「よい動き」と関連させ、指導の手だてとともに明らかにすることで学習活動に即した評価に迫る。

##### ③幼稚園と小学校との連携

##### ○表現遊びの映像化

- ・昨年度調査した幼稚園・保育園で行われている表現遊びの中から授業の「心と体ほぐし」で取り入れられる表現遊びを精選し、映像化することで、どの先生にも活用できるようにまとめていく。

(4) 研究構想図

東京都小学校体育研究会研究主題

一人一人が学ぶことの楽しさを味わい、進んで運動に取り組む力を身に付ける体育学習

昨年度までの研究の成果と課題

○成果

- ・身に付けさせたい動きを習得させるための課題解決的な学習の提案
- ・心と体のほぐしをねらったウォーミングアップの提案

●課題

- ・表現運動におけるよい動きの具体化・一般化
- ・低学年の児童を進んで運動に取り組ませるための指導の工夫

研究主題具体化のための基礎研究

- ◇学習指導要領及び 同 解説
- ◇表現運動系の特性の分析
- ◇表現運動における「思考・判断」の明確化
- ◇幼稚園の「表現」と小学校の表現運動の系統

表現運動系領域部会研究主題

一人一人がなりきって踊ることの楽しさを味わい、題材の特徴をとらえて踊りを工夫することができる表現リズム遊びの学習

研究の仮説

表現運動で身に付けさせたいよい動きを明らかにし、課題解決的な授業づくりをすれば、踊りを工夫することができる、進んで運動に取り組む力を身に付けることができるであろう。

研究の内容

- ① 課題解決的な単元計画  
・低学年の表現で身に付けさせたい動きを具体化し、「習得」「活用」「探究」の流れの中で確実に身に付けさせていく指導計画を作成する。
- ② 学習活動に即した評価  
・身に付けさせたいよい動きを分析し、児童の具体的な姿として明らかにし、指導と評価の方法を指導計画に入れていく。  
・表現運動における「思考・判断」の指導、学習活動に即した評価とその手だてを明らかにする。
- ③ 幼稚園と小学校との連携  
・幼稚園で実践されている表現遊びをウォーミングアップとして取り入れ、心と体のほぐしとする。

実証授業 1年 表現リズム遊び 「しの三ランドにいこう」

まとめ ○授業分析 ○意識調査の変容 ○研究仮説の検証

## (5) 授業づくりの基本的な考え方

### ① 2年間ごとの内容の構成 ●題材の例示

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
<b>表現遊び</b> 身近な題材の特徴をとらえて全身で踊る。 ●鳥、昆虫、恐竜、動物園など 動物や飛行機、遊園地の乗り物など	<b>表現</b> 題材の主な特徴をとらえ、対比する動きを組み合わせたり繰り返したりして踊る。 ●「具体的な生活からの題材」「〇〇づくり」「1日の生活」など ●「空想の世界からの題材」「ジャングル探検」「海底探検」「宇宙探検」「氷の世界」など	<b>表現</b> いろいろな題材から表したいイメージをとらえ、即興的な表現や簡単なひとまとまりの表現で踊る。 ●「激しい感じの題材」 ●「群(集団)が生きる題材」 ●「多様な題材」 「私たちの地球」「小学校の思い出」など
<b>リズム遊び</b> 軽快なリズムに乗って踊る。 ●弾んで踊れるようなやや速いテンポのロックやサンバなどの軽快なリズムの曲	<b>リズムダンス</b> 軽快なリズムに乗って全身で踊る。 ●弾んで踊れるロックやサンバのリズムの曲 ●いろいろな速さや曲調の異なるロックやサンバのリズムの曲	<b>フォークダンス(民踊を含む)</b> 踊り方の特徴をとらえ、音楽に合わせて簡単なステップや動きで踊る。 ●日本の民踊 阿波踊り・ソーラン節・エイサーなど ●マイムマイム・コロブチカ・グフタス スクール

### ② 2年間ごとの指導の目標

	第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
技能	身近な題材の特徴をとらえ全身で踊ること。	身近な生活などの題材からその主な特徴をとらえ、対比する動きを組み合わせたりして踊ること	いろいろな題材から表したいイメージをとらえ、即興的な表現や簡単なひとまとまりの表現で踊ること。
態度	運動に進んで取り組み、だれとでも仲よく踊ったり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。	運動に進んで取り組み、だれとでも仲よく練習や発表をしたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。	運動に進んで取り組み、互いのよさを認め合い助け合って練習や発表をしたり、場の安全に気を配ったりすることができるようにする。
思考・判断	簡単な踊り方を工夫できるようにする。	自己の能力に適した課題を見付け、練習や発表の仕方を工夫できるようにする。	自分やグループの課題の解決に向けて、練習や発表の仕方を工夫できるようにする。

### ③ 2年間ごとの授業づくりのポイント

#### 【全学年共通のポイント】

ア ウォーミングアップで、心と体を十分にほぐし、自然に踊る体をつくっていく。

イ 「表現遊び・表現」では、発達段階に即し、動きの特徴をはっきりととらえやすい題材を取り上げる。

**習得の時間**に、教師のリードで題材の特徴のイメージをしっかりととらえさせて動くように指導する。

**活用の時間**に、習得の時間で身につかせた動きを生かしたり繰り返したりして動くように指導する。

**探究の時間**に、今まで踊ってきた小テーマから好きなイメージを選び、リズム・空間・かかわりなどを変化させるなど、よりよい動きを工夫するよう指導する。

ウ 「リズム遊び・リズムダンス」では、体幹(へそ)を動かすことを意識させる。

エ 教師が見つけた題材の特徴をとらえたよい動きを紹介したり、互いの動きを見合う場を設定してよい動きに気付かせたりする。

オ 教師は、題材のイメージがより具体的にはっきりするよう、オノマトペを使った声かけを行う。

**【低学年の授業のポイント】**

- ものになりきって動き、想像の世界を楽しむことが好きな時期。
- ・毎時間「表現遊び」と「リズム遊び」の両方を行う。「リズム遊び」は15分程度。
- ・「表現遊び」は、イメージカルタを使って、誰もがイメージをもち、たくさんの種類の動きを経験できるようにする。

**【中学年の授業のポイント】**

- 複数の友達と一緒に踊ることが楽しい時期。
- ・ペアになって対応したり対立したりして相手を感じて動く題材を取り入れる。  
例 「凧と人」「うそのけんか」など
- ・1番表したいことの前後に簡単な「はじめ」と「おわり」をつけて、変化のある「ひと流れ」の動きを踊るようにさせる。
- ・「リズムダンス」では、軽快なリズムのロックやサンバの曲を複数用意し、リズムの特徴をとらえて、体幹(へそ)を中心に弾むことを意識させ、続けて踊るようにさせる。

**【高学年の授業のポイント】**

- 踊ることへの恥ずかしさや抵抗感が出てくる時期
- ・「激しい感じの題材」で思い切り体を動かして恥ずかしさを軽減する。
- ・「走る一跳ぶ」などの動きの課題から始め、誰もができる動きをすることで安心感を与えるようにする。  
「フォークダンス」では、伝承されてきた踊りを身につけて、そのダンスの特徴を出してみんなで交流して踊る。

④ 2年間の指導計画例

**【第1学年、2学年の例】**

第1学年		第2学年	
・表現リズム遊び (1～6)		・表現リズム遊び (1～6)	
・表現「どうぶつランドでへんしん！」 好きな動物を選び、簡単なお話を続けて踊る。(1～5)	面白かった動物の様子や動きをみんなで一緒に踊る。(6)	・表現「ゆうえんちへいこう」 好きな乗り物などを選び、簡単なお話で続けて踊る。(1～5)	面白かった乗り物の動きをみんなで一緒に踊る。(6)

**【第3学年、4学年の例】**

第3学年		第4学年	
・リズムダンス(1～4)		・リズムダンス(1～4)	
・表現「お料理しましょ！」 「お料理作り」のいろいろな様子や場面の特徴をとらえて、ひと流れの動きで即興的に踊る。(1～4)	好きな場面に、「はじめとおわり」をつけて踊る。(5、6)	・表現「〇〇探検」 「〇〇探検」のいろいろな様子や場面の特徴をとらえて、ひと流れの動きで即興的に踊る。(1～4)	好きな探検と場面を選び「はじめとおわり」をつけて踊る。(5、6)

**【第5学年、6学年の例】**

第5学年		第6学年	
・表現「激しい感じの題材」 「対決！」のイメージを、ひと流れの動きで即興的に踊る。(1～4)	「対決」からふくらませた「激しい感じ」の好きなイメージを選び、グループでひとまとまりの動きにして踊る。(5～7)	・表現「群が生きる題材」 「走る一跳ぶ」の動きからイメージをふくらませ、ひと流れの動きで即興的に踊る。(1～4)	好きなイメージを選び、8～10人のグループでひとまとまりの動きにして踊る。(5～7)

「フォークダンス」

第5学年	第6学年
外国のフォークダンス 「マイムマイム」・「コロボチカ」など(1～4)	日本の代表的な踊り・郷土の踊り 「阿波踊り」「八木節」・「ソーラン節」など(1～4)

## 2 「思考・判断」の指導内容に関する指導資料

### (1) 6年間の「思考・判断」の系統性

	第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
思考・判断の目標	簡単な踊り方を工夫できるようにする。	自己の能力に適した課題を見付け、練習や発表の仕方を工夫できるようにする。	自分やグループの課題の解決に向けて、練習や発表の仕方を工夫できるようにする。
運動健康安全についての思考・判断の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現遊びやリズム遊びの動き方を知り、楽しく踊るための動きを選んだり、友達のよい動きを見付けたりすること</li> <li>題材やリズムの特徴を知り、それに合った動きを選んだり見付けたりすること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>題材やリズムの特徴を知り、自分の能力に合った題材やリズムを選ぶこと</li> <li>表現やリズムダンスの動きのポイントを知り、楽しく踊るために自分にあった課題を見付けること</li> <li>よい動きを知り、友達のよい動きを自分の踊りに取り入れること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の解決の仕方を知り、自分やグループの課題に応じた動きを選んだり、構成を変えたりすること</li> <li>自分やグループの持ち味を知り、発表会、交流会で自分やグループの持ち味を生かす動きをつくること</li> </ul>
学習活動に即した評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現遊びの行い方を知るとともに、動きを広げるためのいろいろな動きを見付けている。</li> <li>動物や遊園地の乗り物、ロックやサンバなどのリズムの特徴を知るとともに、それに合った動きを選んだり、友達のよい動きを見付けたりしている。</li> <li>動物や遊園地の乗り物の特徴や様子をとらえた具体的な動きをいろいろ見付けたり選んだりしている。</li> <li>友達のよい動きを見付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>題材の動きのポイントを知るとともに、自分に合った課題を選んでいる。</li> <li>よい動きを知るとともに、友達のよい動きを自分の踊りに取り入れている。</li> <li>題材のイメージから、多様な場面や特徴的な動きをいろいろ見付けている。</li> <li>気に入った題材の表したい感じを誇張したり、感じの異なる動きや急変する場面を入れたりして、動きを工夫している。</li> <li>ロックやサンバなどのリズムの特徴や動きのポイントを知り、特徴をとらえた動きを見付けている。</li> <li>ロックやサンバから好きなリズム(曲)を選び、友達のよい動きを取り入れたり、新たな動きや変化のつけ方を工夫したりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>題材の特徴が表れるように一番表したい動きを誇張して動きを工夫している。</li> <li>ひとまとまりの動きの構成の仕方を知り、動きを工夫している。</li> <li>見せ合いを通して友達の助言を自分の課題解決に活かしている。</li> <li>見せ合いを通して気付いた自分やグループのよさを知り、動きに活かしている。</li> <li>題材のイメージから特徴的な動きをいろいろ見付け、自分の動きに取り入れている。</li> <li>気に入った題材のイメージを選び、表したい感じを強調できるように、動きに変化と起伏をつけたり、群の動きを工夫したりしている。</li> <li>自分やグループの課題に応じた練習の仕方を選んでいる。</li> <li>踊りの特徴の出し方を考えたり、交流の仕方を選んだり、工夫したりしている。</li> </ul>
「思考・判断」の学習を促す手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が特徴をとらえやすい題材を精選して提示し、教師のリードと一緒に踊り、その中でよい動きを示し、知らせる。</li> <li>オノマトペを使った言葉かけで、児童が動きをイメージできるようにし、よい動きの児童を紹介したり、比較したりして題材の特徴をはっきりもたせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師のリードで踊らせる中で、動きの差をつけて誇張したり、リズムに変化をつけたりするなど工夫するポイントを示して踊らせる。</li> <li>見せ合いを通して友達のよい動きに気付かせて自分の動きに取り入れられるようにする。</li> <li>全身を使って踊ったり変化を付けて踊ったりしている児童を取り上げ、全体に広める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>色々な小テーマについて一番表したい動きをひとまとまりの動きにする。</li> <li>見せ合いを通して、友達のよい動きを見付けて自分の動きに取り入れられるようにする。</li> <li>見せ合いをする中で、友達の助言や自分たちの踊りの映像を見て自分やグループの特徴に気付かせ、練習や発表に活かせるようにする。</li> </ul>





(2) 具体的な学習活動の例

1年生「しの三ランドにいこう」


時数	オリエンテーション	テーマ1 ふしぎなやかた		テーマ2 のりもの		遊園地 メドレー
	1	2	3	4	5	6
学習内容	1 いろいろな ウォーミングアップ	1 ウォーミングアップ				1 ウォーミングアップ
		2 リズム遊び				2 メドレー形式で 踊る【探究】
		3 表現遊び 即興表現 【習得】	3 表現遊び お話づくり 【活用】	3 表現遊び 即興表現 【習得】	3 表現遊び お話づくり 【活用】	
クーリングダウン						

(3) 思考・判断を促す言葉かけの例


いろいろなよい動きを見付けるための言葉かけ




先生と〇〇さんの動きはどちらがよりジェットコースターらしい？




〇〇さんは、初めゆっくり上っていたのに急にゴ—って速くなった。




なるほど。スピードに違いが出ると、よりわかりやすいね。


だれのどんな乗り物の動きがよかったかな？




〇〇さんのメリーゴーランド。



どうしてよいと思ったの？



ゆっくり回る動きと上がったたり、下がったりするところがおもしろかった。



ジェットコースターとは速さが違うね。まわる様子や高さの違いもわかりやすかったね。

(4) 本單元における「思考・判断」の指導と評価

	1	2	3
評価規準	・表現遊びやリズム遊びの行い方を知る。	小テーマの動きの特徴を知り、特徴に合った動きを選んだり見付けたりする。	小テーマの動きの特徴や様子をとりえ、具体的な動きから気に入った動きを選んだり、見付けたりしている。
評価する学習活動	幼児期に行った表現遊び ① 怪獣になろう ② やきいもグーチーパーリズム遊び ③ リズム太鼓にあわせて動く ④ 軽快なリズムに乗って踊る	〔習得〕 ① 教師のリードで題材の様子や動きの特徴をとらえて一緒に踊る 小テーマ 「ふしぎなやかた」	〔活用〕 ① 急変する場面を取り入れて簡単なお話にして続けて踊る。 小テーマ 「ふしぎなやかた」
身に付けさせたい動き	注：ここでは身に付けさせたい動きをねらいとせず、心と体のほぐしをねらいとする。	ガイコツダンス…カクカク体を揺らしたり、歩いたりする おぼけ…ゆらゆら揺れる、ふわあつとゆっくり動く 忍者…すたすたと走る、飛び出す。 ロボット…ゆっくりとした大きな動き。機械的な動き	気に入った動きを選んで、止まったり、遅く動いたり動きに変化をつけて動く。
思考・判断を促す言葉かけ	① T 先生が言ったものに変身して遊ぶよ。先生を見てまねしてね。 C 変身をして遊ぶんだね。 ② T 歌に合わせて踊ってじゃんけんして遊ぶよ。 C 歌に合わせて踊って遊ぶんだね。 ③ T 太鼓のリズムに合わせて体を動かしたり、走ったり、止まったりしてみよう。 C みんなで一緒に動く楽しいね。 ④ T 音楽に合わせて全身を弾ませて踊ってみよう。 C 音楽に乗って踊ると楽しくなるね。	① T ほねだけのガイコツが音を鳴らしてダンスしているよ。どんな様子かな？ C カタカタ骨を鳴らして体を揺らしてる。 T おぼけってどんな動きをするかな？ C ふわふわ浮いている。消えたり、出てきたりする。 T 忍者になって走ってみよう。どんな走り方かな？ C すたすたと素早く走る。ササーと静かに走る。 T 敵の忍者が来たよ！どうする？ T ロボットになって動いてみるよ。どんな動き方かな？ C ドシーン、ドシーンと大きく動く。	① T 今までにやった動きでもっとやってみたいと思うものは何の、どんな動きかな？ C 忍者がいい。忍者になって高くジャンプしたり速く走ったりするのが楽しい。 T 気に入った動きの途中で、魔法をかけて時間を止めるよ。一番気に入った動きで止まってみよう。 C 高くジャンプしようとしたところで止まろう。 ～振り返り～ T どうしてその動きを選んだのかな？ C 忍者になってささーっと走ったり隠れたりしたのが楽しかったから。

	4	5	6
評価規準	小テーマの動きの特徴を知り、特徴に合った動きを選んだり見付けたりする。	小テーマの動きの特徴や様子をとりえ、具体的な動きから気に入った動きを選んだり、見付けたりしている。	小テーマの動きの特徴や様子をとりえた具体的な動きや気に入った動きを選んだり、見付けたりしている。
評価する学習活動	〔習得〕 ① 教師のリードで題材の様子や動きの特徴をとらえて一緒に踊る 小テーマ 「乗り物」	〔活用〕 ① 急変する場面を取り入れて簡単なお話にして続けて踊る。 小テーマ 「乗り物」	〔探究〕 ① 気に入った動きを選び、メドレーにして続けて踊る。 小テーマ 「遊園地メドレー」
身に付けさせたい動き	ジェットコースター…緩急や高低の差をつけた動き メリーゴーランド…上下にゆっくり動きながら回る バイキング…上がる下がるの繰り返しの動き ゴーカート…左右にスピードをつけて曲がる動き	気に入った動きを選んで、止まったり、遅く動いたり動きに変化をつけて動く。	気に入った動きを選んで、続けて踊る。
思考・判断を促す言葉かけ	① T ジェットコースターがスピードアップしたよ。この後どうなる？ C ギューンと落ちる。 グイーンと曲がる。 T メリーゴーランドが動き出したよ。この後どうなる？ C ゆっくりと回る。友達と一緒にまわる。 T バイキングで楽しいところはどこかな？ C 落ちたり戻ったりするところ。 T ゴーカートで楽しいところはどこかな？ C カーブでスピードをつけて曲がるところ。	① T 今までにやった動きでもっとやってみたいと思うものは何の、どんな動きかな？ C ジェットコースターのゆっくり上って急に落ちるところがまたやってみたい。 T 気に入った動きの途中で、魔法をかけて時間を止めるよ。一番気に入った動きで止まってみよう。 C ジェットコースターで落ちているところで止まろう。 ～振り返り～ T どうしてその動きを選んだのかな？ C ジェットコースターになって落ちたり、登ったりするのが楽しかったから。	① T これまでにやった「遊園地」の中から気に入った動きを選んで思いつくままに踊ってみよう。 C ジェットコースターとバイキングとゴーカートは速く動いて楽しいから続けて、最後は、ゆっくりのメリーゴーランドで終わろう。

### 3 研究内容

#### (1) 課題解決的な単元計画

- 単元全体を「習得」・「活用」・「探究」に分けて単元を構成していく。「習得」「活用」を1単位時間ずつで扱い、即興的な表現を繰り返して行い、課題を解決していく。単元の最後の時間には、題材に合った動きを基にし、これまでに踊った中で一番面白かった乗り物を選び、メドレー形式で踊る。

#### ①学習内容を身に付けるための発達の段階に応じた課題設定とその方法

- 自分ではない何かに変身して虚構の世界に没入し、変身すること自体を楽しむことが好きな低学年の特性を生かして、「身近な動物や乗り物」などの題材からその様子や特徴を捉えて、そのものになりきって全身の動きで楽しく踊ることができるようにする。

その中に、高低の差や速さの変化を付けたり、動きの中に急変する場面を入れて流れに変化を付けたりして、動きの面白さを体験させていく。

#### ②一人一人の児童が進んで課題を解決し、学習内容を身に付けることのできる単元計画

- 本分科会が考える課題解決とは、身近な生活などから題材を選んで、表したいイメージや思いを表現できるようにすることである。そのために、単元計画の中に、1時間ごとに身に付けさせたい動きを明確にしていく。単元全体で題材、場も工夫していく。そして、「習得」と「活用」の時間では、さまざま題材での即興的な表現の活動を重視し、最後には、それを生かして学習を深める「探究」の時間として単元を構成していく。

#### 課題解決的な単元の構成

1	2	3	4	5	6
オリエンテーション	習得	活用	習得	活用	探究

#### ③各時間の授業づくりポイント

- 「習得」の時間では、教師が小テーマに合った特徴的な動きを、引き出していく。その際、各時間で扱う小テーマは3～4つ程度とし、身に付けさせたい動きを確実に引き出していく。変身遊びということを大切にし、指導していくことが大切になってくる。
- 「活用」の時間では、小テーマの中から、好きな題材を自分で選び、「習得」の時間に身に付けた題材に合った動きを選んだり、楽しく踊るための動きを選んだりすることなど、児童が思考判断をしながら学習を進めていくことが大切である。
- 「探究」の時間では、自分たちで小テーマを選び、「習得」の時間で身に付けた動きを基にして、これまでに踊った中で一番面白かった乗り物を選び、メドレー形式で踊ることで、学習のまとめとしていく。

## (2) 学習活動に則した指導と評価

### ① 児童一人一人の学習状況を的確に捉え、授業方法(授業)の改善につながる評価

- 児童一人一人の学習状況を的確に捉え、授業方法(授業)の改善につながる評価をするために、「指導内容の明確化」・「指導法の工夫」・「到達度の把握」・「指導の改善」のPDCAサイクルを授業の中で実践していく。

### ② 一般化するための重点化・簡素化された評価

- 観点ごとの評価規準を明らかにする。単元全体を通してバランスよく指導を行い、評価計画を作成し、一単位時間での評価観点を絞る。単元前半には関心・意欲・態度。中盤では題材に合った動きを選んだり、楽しく踊るための動きを選んだりすることが顕著に見られるようになる思考判断。技能の伸びを見るために、後半に進むにつれて技能を評価の重点として定めていく。
- 評価の方法は、教師による観察、学習カードを主な手段としていく。それぞれの時間の活動内容、評価項目において、評価の方法を明らかにする。また、一単位時間の中で、どの場面で、どのような児童の様子を評価するのかを示すことで、評価の一般化を図る。
- 「指導内容の明確化」・「指導法の工夫」・「到達度の把握」・「指導の改善」を生かした指導と評価の計画
- 単元の指導と評価の計画を立て、評価に合わせた予想される児童の姿、つまずきの例を明らかにし、指導の手だてとした。より実践的な指導と評価の計画になるようにした。

#### 【指導と評価の計画 例】

児童の具体的な姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きまりを守り、安全にだれとでも仲よく踊っている。</li> <li>・友達とぶつからないように周囲に気を付けて踊っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで表現遊びに取り組み、踊る楽しさを味わっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現遊びの基本的な動き方を知り、楽しく踊るための動きを選ぶことができる。</li> </ul>
つまずきの例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人か、いつもきまった友達と踊っている。</li> <li>・走り回ったり、周りを気にしなかったりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恥ずかしがり、なかなか踊ることができない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動きが分からず立ちっぱなしだったり、リズムカルに動くことができなかったりする。</li> </ul>
おおむね満足できる状況にするための支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達にぶつからないよう個別に声をかける。</li> <li>・友達や教師のまねをさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達や教師のまねをさせる。</li> <li>・意図的にペアを作り、その友達と一緒に踊らせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師や友達と一緒に動きをするよう助言する。教師が手拍子をしながら一緒に踊る。</li> </ul>
十分に満足できる状況にするための支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで踊れるような声をかけ、かわりを増やす。</li> <li>・進んで表現リズム遊びに取り組み姿を称賛し、意欲を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場や空間を広く使うよう、声をかける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全身を使って大げさに表現すること、動きにメリハリを付けて踊るよう声をかける。</li> </ul>

### (3) 表現運動の特性

表現運動とは (小学校学習指導要領解説 体育編より)

#### 表現リズム遊び(第1学年～第2学年)

(運動の特性)

- ・身近な動物や乗り物などの題材の特徴をとらえ、そのものになりきって全身の動きで表現したり、軽快なリズムの音楽に乗って踊ったりするのが楽しい運動。
- ・友達といろいろな動きを見付けて踊ったり、みんなで調子を合わせて踊ったりして楽しむ運動。

(学習の中心)

- ・「表現遊び」、「リズム遊び」の両方の遊びを豊かに体験すること。
- ・児童の身近で関心が高く、具体的で特徴のある動きを多く含む題材や弾んで踊れるような軽快なリズムの音楽を取り上げるようにする。
- ・1時間の学習の中に「表現遊び」と「リズム遊び」の2つの内容を組み合わせるなど、いろいろなものになりきりやすく、律動的な活動を好む低学年の特性を生かした学習指導の進め方を工夫すること。

#### 表現運動(第3学年～第4学年)

(運動の特性)

- ・自己の心身を解き放して、リズムやイメージの世界に没入してなりきって踊ることが楽しい運動。
- ・互いのよさを生かし合って仲間と交流して踊る楽しさや喜びを味わうことができる運動。

#### 表現(第3学年～第6学年)

(運動の特性)

- ・身近な生活などの題材を選んで表したいイメージや思いを表現することが楽しい運動。
- ・自由に動きを工夫して楽しむ創造的な運動。

#### リズムダンス(第3学年～第4学年)

(運動の特性)

- ・軽快なロックやサンバなどのリズムに乗って仲間とかかわって踊ることが楽しい運動。
- ・自由に動きを工夫して楽しむ創造的な学習。

(学習の中心)

- ・児童一人一人が踊りの楽しさや喜びに触れることがねらいになる。
- ・児童の今もっている力や違いを生かせるような題材や音楽を選ぶとともに、多様な活動や場を工夫して、一人一人の課題の解決に向けた創意工夫ができるようにしていくこと。

※中学年では、題材の特徴をとらえた多様な感じの表現と全身でリズムに乗る学習を通して、仲間とかかわり合いながら即興的に踊る。

※高学年では、個人やグループの持ち味を生かした題材の選択や簡単なひとまとまりの表現への発展など、拡大する個の違いに対応した進め方。

#### フォークダンス(第5学年～第6学年)

(運動の特性)

- ・伝承された踊りを身に付けてみんなで踊るのが楽しい運動。

(学習の中心)

- ・日本各地域の民踊と外国のフォークダンスで構成。
- ・特定の踊り方を再現して踊る定型の学習。

本分科会では、なりきって表現したり、友達とかかわり合って踊ったりし、表現リズム遊びや表現運動、リズムダンスの特性に触れさせるような授業づくりをすることを目指し、研究を進めている。

# 第1学年 体育科学習指導案

日 時：平成27年10月27日（火）

第5校時（13：45～14：30）

場 所：江戸川区立篠崎第三小学校

体育館

対 象：第1学年3組 26名

指導者：浦郷 理恵



(1) 単元名 表現リズム遊び「しの三ランドにいこう」

(2) 単元の目標

- ①身近な題材の特徴をとらえて全身で踊ったり、軽快なリズムに乗って踊ったりする運動を楽しく行い、題材になりきったりリズムに乗ったりして踊ることができるようにする。 (技能)
- ②表現リズム遊びに進んで取り組み、だれとでも仲よく踊ったり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。 (関心・意欲・態度)
- ③簡単な踊り方を工夫できるようにする。 (思考・判断)

(3) 単元の評価規準

	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「しの三ランドにいこう」の表現遊びに進んで取り組もうとしている。</li> <li>○きまりを守り、だれとでも仲よく踊ろうとしている。</li> <li>○運動をする場の安全に気を付けようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○表現遊びの行い方を知るとともに、動きを広げるためのいろいろな動きを見付けている。</li> <li>○題材の特徴を知るとともに、それに合った動きを選んだり、友達のよい動きを見付けたりしている。</li> <li>※よい動きを見付けるのは第2学年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○表現遊びでは、遊園地の乗り物等の特徴をとらえ、全身で踊ることができる。</li> </ul>
学習活動に即した評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>①表現リズム遊びに進んで取り組もうとしている。</li> <li>②きまりを守り、だれとでも仲よく踊ろうとしている。</li> <li>③友達とぶつからないよう場の安全に気を付けようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 表現遊びの基本的な動き方を知り、楽しく踊るための動きを選んだり、友達のよい動きを見付けたりしている。</li> <li>※よい動きを見付けるのは第2学年</li> <li>②遊園地の乗り物等の特徴や様子とらえた具体的な動きをいろいろ選んだり見付けたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①遊園地の乗り物等の特徴をとらえて、そのものになりきって全身で踊ることができる。</li> <li>②全身の動きに高・低の差や速さの変化をつけたり、急変する場面を入れたりして簡単なお話にして続けて踊ることができる。</li> </ul>

#### (4) 低学年 表現リズム遊びの特性

～児童からみた機能的特性～

- ・身近な動物や乗り物などの題材の特徴をとらえ、そのものになりきって全身の動きで表現したり、軽快なリズムの音楽に乗って踊ったりするのが楽しい運動。
- ・友達といろいろな動きを見つけて踊ったり、みんなで調子を合わせて踊ったりして楽しむ運動。

#### (5) 児童の実態

本学級の児童は、体育科の学習に対して意欲的に取り組む児童が多い。学習にのめり込み、体を動かして汗をかくことに心地よさを感じている。1年生ということもあり、4月当初は運動経験が少なく、走ったり跳んだりの動きがぎこちない児童が多かった。しかし、体育科の学習に意欲的であり、少しずつ運動の仕方を身に付けてきている。学習課題を達成することができた時には、学習に対してより意欲が高まり、運動に対する自信につながっているようだ。

表現リズム遊びは、本単元が児童にとって初めての学習となる。休み時間に音楽をかけると、自由に踊って楽しむ児童がいた。一方で、言葉を掛けても踊ることが難しいと感じている児童もいた。

本単元では、音楽に合わせて身体を動かすことを好む児童がいる一方で、動き方が分からず立ち尽くしてしまう児童がいることが予想される。そこで、十分な手立てを取ってどの児童も心と体をほぐしてのびのびと学習に取り組めるようにしていく。表現遊びでは、「しの三ランド」の世界に没入し、題材に全身でなりきって踊ることに期待したい。また、児童のよい動きを引き出し、オノマトペでよい動きを表わして全体で価値を共有することで、動きを身に付けさせていく。そして、教師の言葉掛けで動きを工夫し、広げていきたい。



6単元の指導と評価の計画 1年（評価の丸番号は、学習活動に即した評価規準の番号を示す。）

時		1 (オリエンテーション)	2・3 (ふしぎなやかた)	
本時のねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>・きまりを守り、だれとでも仲よく踊ったり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。</li> <li>・表現リズム遊びに進んで取り組むことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現遊びの動き方を知り、動きを広げるためのいろいろな動きを見付けることができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題材の特徴や様子をとりえた動きを見付けたり、選んだりすることができるようにする。</li> </ul>
学習活動		<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元のめあてと流れを知る。</li> <li>○ウォーミングアップ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・だんごむし体操</li> <li>・怪獣になろう</li> <li>・やきいもグーチーパー</li> <li>・地球をどンドン</li> </ul> </li> <li>○教師のリードでリズム遊びの基本的な動きで踊る。【習得】</li> <li>・リズム太鼓の音に合わせて動く。</li> <li>・軽快なリズムの曲に乗って踊る。</li> <li>○違うリズムの曲をつなぎ、動きに変化をつけて踊る。</li> <li>○気に入った動きを取り入れて、リズムに乗って全身を弾ませて踊る。</li> <li>○クーリングダウン</li> <li>○振り返りをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習課題を確認する。</li> <li>○ウォーミングアップ                             <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">                                 ○軽快なリズムの曲に乗って踊る。                                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・先生のまねをして</li> <li>・友達と動きを真似し合っ</li> <li>・気に入った動きをつないで・一人で・自由に</li> </ul>                                 ○幼児期に行った表現遊びに取り組む。                                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・たまごたまご</li> </ul> </div> </li> <li>○「ふしぎなやかた」の特徴的な動きを先生と一緒にいくつかみんなやってみる。【習得】</li> <li> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <b>ふしぎなやかた</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイコツダンス</li> <li>・おぼけ</li> <li>・にんじゃ</li> <li>・ロボット 等</li> </ul> </div> </li> <li>○クーリングダウン</li> <li>○振り返りをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前時の小テーマの特徴的な動きを簡単なお話にして踊る。【活用】</li> <li>・教師と一緒に踊る。</li> <li>○気に入った小テーマを選び、簡単なお話にして踊る。</li> <li>・気に入った動きを選んで、簡単なお話にして踊る。</li> <li> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">                     揺れる、倒れる、飛び出す、奇怪な動き等。急変する動き。                 </div> </li> <li>○クーリングダウン</li> <li>○振り返りをする。</li> </ul>
評価の 重点 (方法)	関心・意欲・態度	②	③ (観察)	
	思考・判断			
	技能		① (観察)	
児童の具体的な姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・きまりを守り、安全にだれとでも仲よく踊っている。</li> <li>・友達とぶつからないように周囲に気を付けて踊っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで表現遊びに取り組む、踊る楽しさを味わっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現遊びの基本的な動き方を知り、楽しく踊るための動きを選ぶことができる。</li> </ul>
つまずきの例		<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人か、いつもきまった友達と踊っている。</li> <li>・走り回ったり、周りを気にしなかったりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恥ずかしがり、なかなか踊ることができない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題材の特徴をとりえて、それに合った動きを選ぶことができない。</li> </ul>
おおむね満足できる状況にするための支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>・場の安全に気を付けるよう、友達とぶつからないように個別に言葉掛けをする。</li> <li>・友達や教師のまねをさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達や教師のまねをさせる。</li> <li>・意図的にペアを作り、その友達と一緒に踊らせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が動きの様子やその場面を、オノマトペなど言葉掛けを工夫することで、児童に題材の様子や特徴をつかませるようにする。</li> </ul>
十分に満足できる状況にするための支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と一緒に踊れるような言葉掛け、関わりを増やす。</li> <li>・進んで表現リズム遊びに取り組む姿を称賛し、意欲を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場や空間を広く使うよう、言葉掛けをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題材の特徴をとりえて、それに合った動きを選んだり見付けたりしたことを友達に伝えるように言葉掛けをする。</li> <li>・同じ題材を選んだ友達と動きを合わせて踊るよう言葉掛けをする。</li> </ul>

4・5 <b>本時</b> (乗り物)		6 (遊園地メドレー)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・題材の様子や特徴をとらえて、そのものになりきって全身で踊ることができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題材の特徴を知り、それに合った動きを選んだり見付けたりすることができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題材の様子や特徴をとらえて、そのものになりきって全身で踊ることができるようにする。</li> </ul>
<p>○学習課題を確認する。 ○軽快なリズムの曲に乗って自由に踊る。</p> <p style="text-align: center;">シャボン玉のようにゆっくり動いてみよう</p> <p style="text-align: right;">ハムスターのように小さく動いてみよう</p> <p>○軽快なリズムの曲に乗って踊る。 ・先生のまねをして ・友達と動きを真似し合っ て ・気に入った動きをつないで ・一人で 自由に ○幼児期に行った表現遊びに取り組む。 ・たまごたまご</p>		
<p>○「乗り物」の特徴的な動きを先生と一緒にみんなでやってみる。 <b>習得</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>乗り物</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェットコースター (スピードの変化・高低の差や、傾き・友達とつながる動き)</li> <li>・メリーゴーランド (上下に動きながら丸く進む・友達と上下のリズムを変化させながら)</li> <li>・バイキング (高低の差や大小の差を付けた動き)</li> <li>・ゴーカート (速さやコースを色々変える動き・友達とレースをする動き)</li> </ul> </div> <p>○クーリングダウン ○振り返りをする。</p>	<p>○前時の小テーマの特徴的な動きを簡単なお話にして踊る。 <b>活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師と一緒に踊る。</li> </ul> <p>○気に入った小テーマを選び、簡単なお話にして踊る。 ・気に入った動きを選んで、簡単なお話にして踊る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>回る、上がる、急降下等、スピードや方向を変化させた動き</p> </div> <p>○クーリングダウン ○振り返りをする。</p>	<p>○友達と気に入った動きを選び、メドレーにして踊る。 <b>探究</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p><b>遊園地メドレーのやり方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習で踊ったものの中から、やりたいものを一つ選び、集まったメンバーでグループとなる。</li> <li>・ペアグループで順々に動きを見せ合い、よかったところを伝え合ったり一緒に踊ったりして楽しむ。</li> <li>・音楽を順番に流し、出番が来たらステージに出て踊る。</li> </ul> <p>○出入りは一方通行にする。</p> </div> <p>○クーリングダウン ○振り返りをする。</p>
		① (観察)
	② (観察)	
② (観察)		② (観察)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・題材の特徴を知り、それに合った動きを選んだり見付けたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リズムに乗って弾んで踊ったり、題材の特徴をとらえて踊ったりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現リズム遊びに進んで取り組んでいる。</li> <li>・題材の様子や特徴をとらえ、そのものになりきって全身で踊っている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・動きが分からず立ちっぱなしだったり、リズムカルに動くことができなかつたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題材の特徴をとらえて、それに合った動きを選ぶことができない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで運動に取り組むことができない。</li> <li>・動きが分からず立ちっぱなしだったり、なりきって踊ったりすることができない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師や友達と一緒に動きをするよう言葉掛けをする。教師が手拍子をしながら一緒に踊る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が動きの様子やその場面を、オノマトペなど言葉掛けを工夫することで、児童に題材の様子や特徴をつかませるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の見通しがもてるよう、運動する場や順番などを図や絵で示す。</li> <li>・題材の様子や特徴をつかませるように、教師の言葉掛けで踊ったり、動きを真似したりするようにする。</li> <li>・教師や友達と一緒に動きをするよう言葉掛けをする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全身を使って大きさに表現すること、変化を付けたメリハリを付けること、動きを連続させて気持ちも途切れず踊るように言葉掛けをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題材の特徴をとらえて、それに合った動きを選んだり見付けたりしたことを友達に伝えるように言葉掛けをする。</li> <li>・同じ題材を選んだ友達と動きを合わせて踊るよう言葉掛けをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り返し運動に取り組むように言葉掛けをする。</li> <li>・友達を励ます言葉掛けをしている児童を称賛する。</li> <li>・動きを誇張したり、メリハリを付けたり、連続させて気持ちも途切れず踊るように言葉掛けをする。</li> </ul>

(6) 一単位時間の流れ

第1学年 表現リズム遊び「しの三ランドにいこう」 第1時

学習活動	学習環境 ☆教師の支援 ◆評価
<p>1 単元のめあてとながれを確認する。</p>	<p>☆掲示物で、学習の流れやめあてを分かりやすく示す。</p> <div data-bbox="377 398 1055 477" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     ともだちといっしょに なかよく たのしくおどろう                 </div>
<p>2 幼児期に行ったリズム遊びに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○だんごむし体操</li> <li>○怪獣になろう</li> <li>○やきいもグーチーパー</li> <li>○地球をどんどん</li> </ul> <p>3 教師のリードで、リズム遊びの基本的な動きで踊ってみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○リズム太鼓に合わせて動く                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆっくり ・速く ・止まる</li> <li>・大きく ・小さく</li> <li>・激しく、軽やかに 等</li> </ul> </li> <li>○軽快なリズムの曲に乗って踊る。                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロックやサンバなどの曲を踊る。</li> </ul> </li> </ul>	<p>先生のまねっこだよ。体を大きく使って動こう！</p> <p>しの三ランドに出発する準備をしよう！</p> <p>☆「○○みんなに～してみよう」と、イメージとつなげた言葉掛けをする。</p> <div data-bbox="863 904 1408 981" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ワカメみたいにクネクネしてみよう。                 </div> <div data-bbox="863 987 1408 1106" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     友達にぶつからないように、広く踊れる場所に行こう！                 </div> <p>☆<b>ダンダン、ターンタターン</b>など、その場でリズム打ちや手拍子などを取り入れ、リズムに乗る楽しさを味わわせる。 ☆体幹部を動かすことを意識させる。</p> <div data-bbox="805 1211 1292 1288" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     おへそを上下に弾ませてみよう！                 </div> <div data-bbox="816 1294 1397 1361" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ○○さん体全部で踊っていて素敵だね！                 </div> <p>☆児童にとって親しみやすい軽快なリズムの曲を用意する。 ☆友達と手をつないでいろいろな動きを工夫するとよいことを伝える。 ◆きまりを守り、だれとでも仲よく踊ろうとしているか。 【関心・意欲・態度】(観察) ☆場の安全に気を付けて、広がって踊るよう言葉を掛ける。</p>
<p>4 違うリズムの曲をつなげて、動きに変化をつけて踊ってみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○3で踊った中から気に入った動きを取り入れて、リズムに乗って全身を弾ませて自由に踊る。                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と動きを真似し合っ</li> </ul> </li> </ul>	<div data-bbox="790 1585 1397 1682" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ○○さんはリズムに乗っているね！ ○○さんは友達の動きに合わせているね！                 </div> <div data-bbox="790 1688 1397 1809" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     音楽に合わせて全身を弾ませて踊ってみよう                 </div> <p>☆なかなか動けない児童には、教師と一緒に踊るよう促す。 ◆友達とぶつからないよう場の安全に気を付けようとしているか。 【関心・意欲・態度】(観察)</p>
<p>5 楽しかったことや、気に入った動きを発表する。</p>	<p>☆リズムに乗って全身で弾んで踊っている児童を称賛する。</p>

一単位時間の流れ

第1学年 表現リズム遊び「しの三ランドにいこう」 第2時

学習活動	学習環境 ☆教師の支援 ◆評価
1 本時のめあてと流れを確認する。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">ふしぎなやかたに いるものに へんしんしよう</div>	
2 ウォーミングアップをする。 ○教師のリードで軽快なリズムの曲に乗って踊る。 ○幼児期に行ったリズム遊びに取り組む。 ・たまごたまご	☆全身を大きく弾ませて踊るようにする。 ☆クネクネ、シュッシュなど、オノマトペを使った言葉掛けをし、質感の違いを分かりやすくする。 ☆教師が思い切り移動して空間をかきまわすように動くことで開放的な空間を作る。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">人のいないところへ！同じ場所にいるようにしよう！</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">○○さんの動きは～～になりきっているね！</div>
3 教師のリードで題材の様子や動きの特徴をとらえて一緒に踊ってみる。【習得】	☆だれとでも仲よく踊れるように友達と手をつないだりタッチしたりする動きを取り入れる。 ☆素早く、ゆっくり、急に止まるなど、リズムや速さの変化を意識できるような言葉掛けをする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">おばけさんたち次のところへ出発しよう！</div>	☆体育館を4つに分け、それぞれの動きの違いを体験させる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【ふしぎなやかた】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイコツダンス…揺れる、倒れる、奇怪な動き「カクカク」</li> <li>・おばけ…揺れる、倒れる、奇怪な動き「クネクネ」「ユラユラ」</li> <li>・忍者…飛び出す、急変する動き「シュシュシュ」</li> <li>・ロボット…機械的な動き「ギーガッシャン」</li> </ul> </div>	☆オノマトペを使った言葉掛けをし、質感の違いを分かりやすくする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">忍者が柱に隠れているよ！そおっとそおっと歩いて・・・敵が来た。どうする？どんな走り方かな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">○○さんの忍者はピッと止まったり、シュッと動いたりしてかっこいいね！</div> ☆よい動きの児童を紹介し、よい動きの価値付けをする。 ◆題材の特徴をとらえて、そのものになりきって全身で踊ることができ。【技能】(観察)
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【児童の具体的な姿】</p> <p>進んで表現遊びに取り組み、踊る楽しさを味わっている。</p> <p>【つまずきの例】</p> <p>恥ずかしがり、なかなか踊ることができない。</p> <p>【おおむね満足できる状況にするための支援】</p> <p>友達や教師のまねをさせる。意図的にペアを作り、その友達と一緒に踊らせる。</p> <p>【十分に満足できる状況にするための支援】</p> <p>場や空間を広く使うよう、言葉を掛ける。</p> </div>
4 クーリングダウンをする。 5 学習の振り返りをする。	☆心地良い音楽を流し、心と体を落ち着かせる。 ☆全身を使って動けたことや特徴をとらえて大げさに動いていたことなどを称賛し、次時への意欲を高める。

一単位時間の流れ

第1学年 表現リズム遊び「しの三ランドにいこう」 第3時

学習活動	学習環境 ☆教師の支援 ◆評価
<p>1 本時のめあてと流れを確認する。</p> <p>ふしぎなやかたにいるものに へんしんして、おもしろいうごきをみつけよう。</p> <p>2 ウォーミングアップをする。 ○教師のリードで軽快なリズムの曲に乗って踊る。 ○幼児期に行ったリズム遊びに取り組み。 ・たまごたまご</p> <p>3 前時の小テーマの特徴的な動きを簡単なお話にして踊る。<b>活用</b> ○教師と一緒に踊り、簡単なお話の作り方を知る。</p> <p>4 気に入った小テーマを選び、簡単なお話にして踊る。 ○気に入った動きを選んで、簡単なお話にして踊る。</p>	<p>☆動きに変化を付けるために、回ったり、ねじったり、弾んだりするような言葉を掛ける。</p> <p>友達のまねをして踊ってみよう。○○みたいに踊ってみよう！</p> <p>☆前時に行った学習を想起させ、動き方の違いを意識させる。 ☆オノマトペを使った言葉掛けをし、質感の違いを分かりやすくする。 ☆体を倒したり、揺らしたり、奇怪な動きをしたり、飛び出したりしている児童を称賛する。</p> <p>☆動き方が分からない児童には、教師や友達と一緒に動きをするよう言葉掛けをする。</p> <p>○○さんはガイコツがカクンカクン踊っているみたいだね！</p> <p>☆簡単な話づくりができるように、動きに変化を取り入れやすい言葉かけをする。</p> <p>魔法をかけるよ。ピーリカピリラ時間よ 止まれ ホイッ！</p> <p>今日やってみた動きの中で、おもしろかったものやもっと工夫してみたくなった動きを選んでみよう。</p> <p>◆小テーマの中の中から、特徴に合う動きを選ぶことができたか。 【思考・判断】(観察)</p> <p>☆友達のよい動きを紹介し、よい動きの価値付けをする。</p> <p>○○さんの動きは、さらにガイコツの動きが大きくなっておもしろいね。繰り返しているのもいいね。</p>
<p>【児童の具体的な姿】・・・表現遊びの基本的な動き方を知り、楽しく踊るための動きを選ぶことができる。</p> <p>【つまずきの例】・・・題材の特徴をとらえて、それに合った動きを選ぶことができない。</p> <p>【おおむね満足できる状況にするための支援】・・・題材の様子や特徴をつかませるように、教師の言葉かけで踊ったり、教師の動きを真似したりするように言葉かけをして、やってみたい動きを選ばせる。</p> <p>【十分に満足できる状況にするための支援】・・・題材の特徴をとらえて、それに合った動きを選んだり見付けたりしたことを友達に伝えるよう言葉かけする。</p> <p>・同じ題材を選んだ友達と動きを合わせて踊るよう言葉かけをする。</p>	
<p>5 クーリングダウンをする。</p> <p>6 学習の振り返りを行う。</p>	<p>☆全身を使って動けたことや特徴をとらえて大きさに動いていたことなどを称賛するとともに、選んだ理由について振り返らせる。</p> <p>○○さんは、どうしてその動きを選んだのかな。</p>

一単位時間の流れ

第1学年 表現リズム遊び「しの三ランドにいこう」 第4時

学習活動	学習環境 ☆教師の支援 ◆評価
1 本時のめあてと流れを確認する。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     ゆうえんちののりものに へんしんしよう。                 </div>	
2 ウォーミングアップをする。 ○軽快なリズムの曲に乗って踊る。 ・友達のまねをする。 ○幼児期に行ったリズム遊びに取り組む。 ・たまごたまご  3 教師のリードで題材の様子や動きの特徴をとらえて一緒に踊ってみる。習得	☆軽快なリズムの曲に乗って踊ることで、心と体をほぐす。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                     シャボン玉のようにふわふわ動いてみよう！                      ハムスターのように小さく動きて見よう！                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                     しの三ランドに出発しよう！今日はどんなアトラクションがあるかな。                 </div> ☆様子の特徴をとらえて踊っている児童を称賛し、繰り返すよう言葉掛けをする。 ☆空間を広く使って場の安全に気を付けたり、大げさに踊ったりするよう促す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                     ジェットコースターが上りはじめたよ。                      カク カク カク カク…                      このあとどうなるのかな。                 </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>【遊園地】</b>                      ・ジェットコースター…スピードの変化・高低の差や、傾き・友達とつながる動き                      ・メリーゴーランド…上下に動きながら丸く進む・友達と上下のリズムを変化させながら進む                      ・バイキング…高低の差や大小の差をつけた動き                      ・ゴーカート…速さやコースを色々と変える動き・友達とレースをする動き                 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>【児童の具体的な姿】</b>                      題材の特徴を知り、それに合った動きを選んだり見つけたりしている。  <b>【つまずきの例】</b>                      動きが分からず立ちっぱなしだったり、リズムカルに動くことができなかったりする。  <b>【おおむね満足できる状況にするための支援】</b>                      教師や友達と一緒に動きをするよう助言する。教師が手拍子をしながらか一緒に踊る。  <b>【十分に満足できる状況にするための支援】</b>                      全身を使って大げさに表現すること、変化を付けたメリハリを付けること、動きを連続させて気持ちも途切れず踊るように言葉掛けをする。                 </div>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                     先生や友達の動きをまねしてみよう。おへそを動かしてみよう！                 </div>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                     急に速くなったり、友達とつながったりしてやってみよう！                 </div>
	◆全身の動きに高・低の差や速さの変化をつけたり、急変する場面を入れたりして簡単なお話にして続けて踊ることができる。
4 クーリングダウンをする。	
5 学習の振り返りを行う。	☆全身を使って動けたことや特徴をとらえて大げさに動いていたことなどを称賛し、次時への意欲を高める。

一単位時間の流れ

第1学年 表現リズム遊び「しの三ランドにいこう」 第6時

活動	学習環境 ☆教師の支援 ◆評価
<p>1 本時のめあてと流れを確認する。</p>	<p>しの三ランドをまわって いろいろなものにへんしんして たのしもう！</p>
<p>2 ウォーミングアップをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○幼児期に行ったリズム遊びに取り組む。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・たまごたまご</li> </ul> </li> <li>○軽快なリズムの曲に乗って踊る。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の見真似をする。</li> <li>・グループを組み、順番に動きを真似して踊る。</li> </ul> </li> </ul>	<p>☆軽快なリズムの曲に乗って踊ることで、心と体をほぐす。</p> <p>回ったり、ねじったり、スキップしたりして、自由に踊ろう！</p> <p>☆動きに変化を付けるために、回ったり、ねじったり、弾んだりするような言葉掛けをする。</p> <p>友達と手をつなごう。回って！ ねじって！ジャンプ！</p>
<p>3 教師のリードで、リズム遊びの基本的な動きで踊ってみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○軽快なリズムの曲に乗って踊る。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達のまねをして</li> </ul> </li> </ul>	<p>☆体育館のまん中をステージとして踊らせる。</p> <p>☆友達と踊る楽しさを共有できるようにする。</p> <p>☆動きに高低の差やスピードの変化などを取り入れている児童を称賛し、そのよさを全体で共有できるようにする。</p> <p>☆題材の特徴をとらえて、そのものになりきって全身で踊っている児童を称賛する。</p> <p>これまでにやった「しの三ランド」の中から、気に入った動きを選んで思いつくままに踊ってみよう。</p>
<p>4 今まで学習した動きの中から友達と気に入った動きを選び、メドレーにして踊る。【探究】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教師主導でメドレーを行う。</li> </ul>	<p>☆思いつかない児童には、友達の動きに目を向けさせる。</p> <p>【児童の具体的な姿】</p> <p>題材の様子や特徴をとらえ、そのものになりきって全身で踊っている。だれとでも仲よくメドレーにして踊っている。</p> <p>【つまずきの例】</p> <p>動きが分からず立ちっぱなしだったり、なりきって踊ったりすることができない。</p> <p>【おおむね満足できる状況にするための支援】</p> <p>題材の様子や特徴をつかませるように、教師の掛けで踊ったり、教師や友達の動きを真似したりするように言葉掛けをする。</p> <p>【十分に満足できる状況にするための支援】</p> <p>動きを誇張したり、メリハリを付けたり、連続させて気持ちも途切れずに踊ったりするように言葉を掛ける。</p>
<p><b>遊園地メドレーのやり方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習で踊ったものの中から、やりたいものを一つ選び、集まったメンバーでグループとなる。</li> <li>・ペアグループで順番に動きを見せ合い、よかったところを伝え合ったり一緒に踊ったりして楽しむ。</li> <li>・音楽を順番に流し、出番が来たらステージに出て踊る。</li> </ul>	<p>◆いろいろな遊園地の乗り物になりきって踊ることに進んで取り組もうとする。 【運動への関心・意欲・態度】（観察）</p> <p>☆楽しかったことや、まねしたい動きなどを発表させ、単元のまとめができるようにする。</p>
<p>5 クーリングダウンをする。</p> <p>6 単元のまとめをする。</p>	

(7) 本時の展開 (5/6)

(1) ねらい

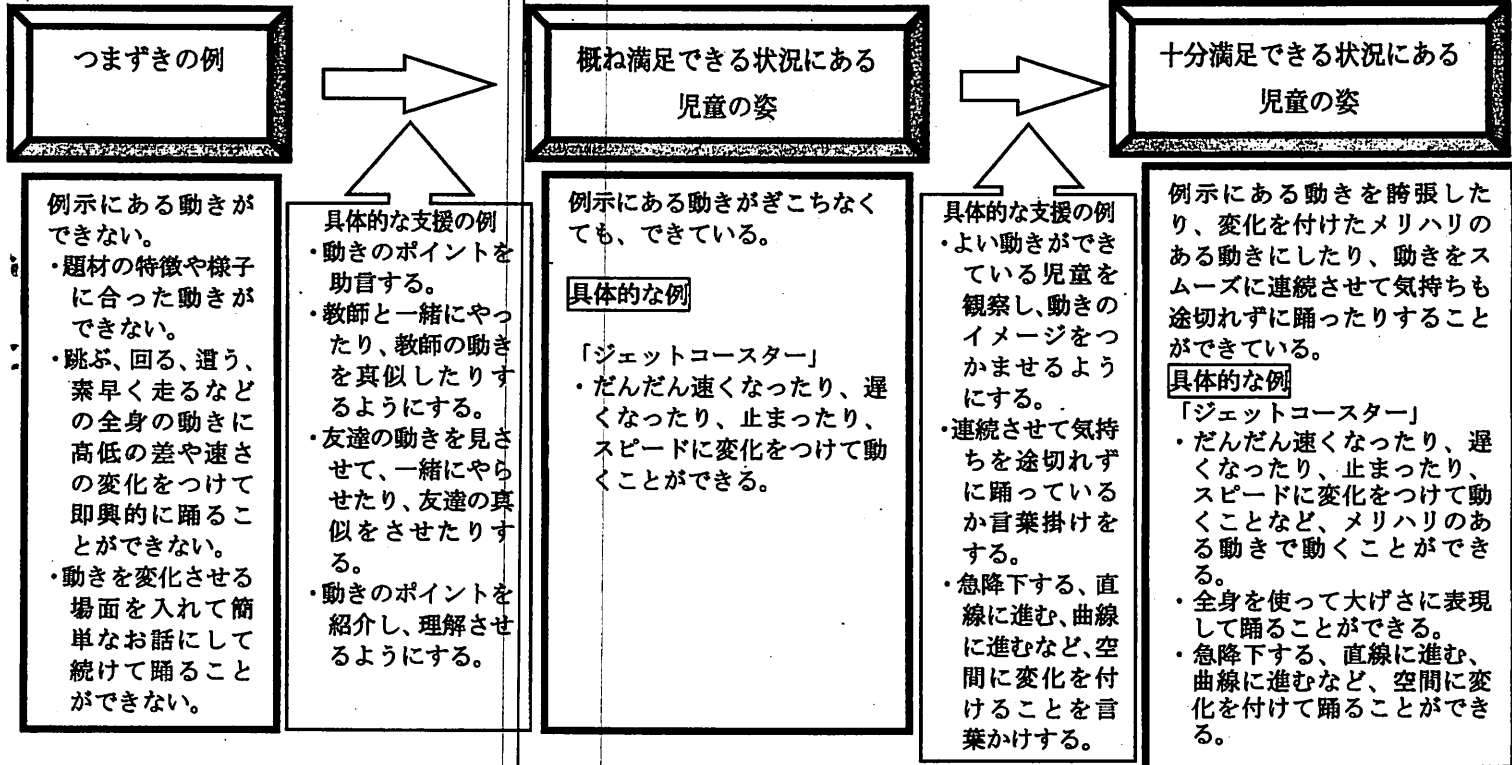
遊園地にある乗り物の特徴を知り、それに合った動きを選んで動くことができるようにする。

(2) 展開

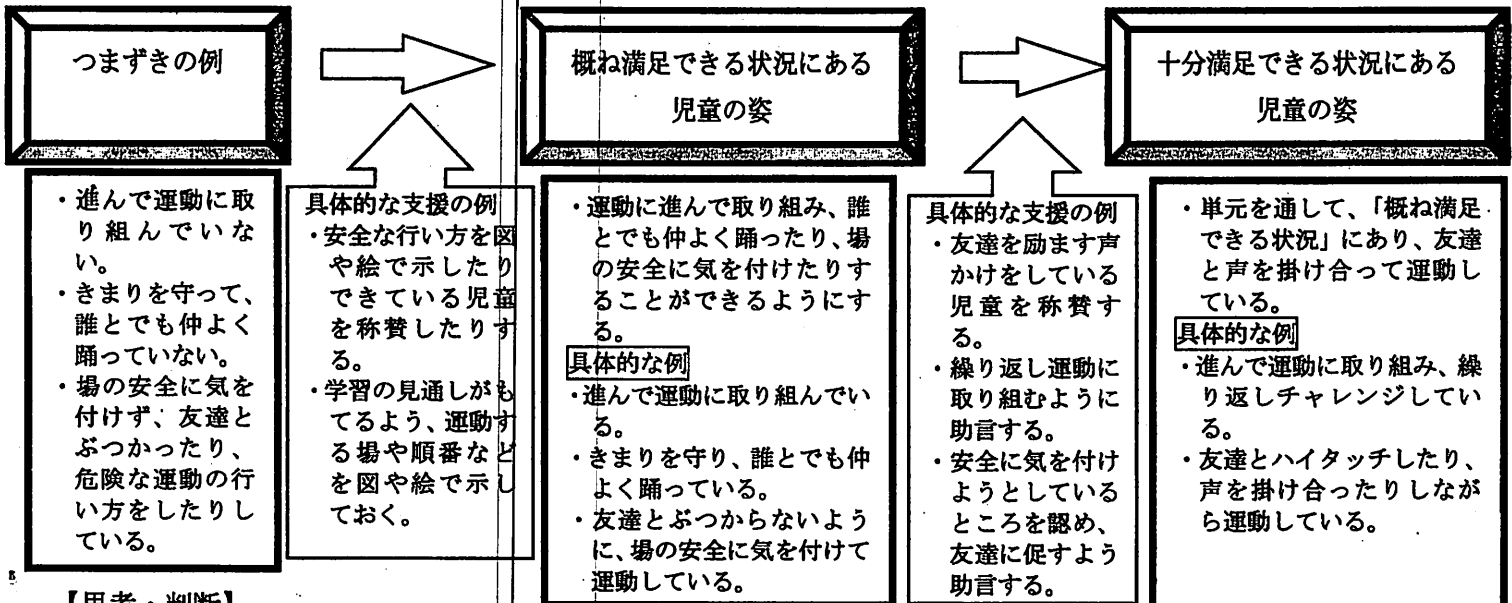
学習活動	☆教師の支援 ◆評価
<p>1 学習課題の確認をする。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ゆうえんちの のりものにへんしんして おもしろいうごきをみつけよう。</p>	<p>○学習のめあてや流れを掲示し、分かりやすくする。</p>
<p>2 ウォーミングアップをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○軽快なリズムの曲に乗って踊る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と動きを真似し合っ</li> <li>・気に入った動きをつないで</li> </ul> <p>○幼児期に行ったリズム遊びに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たまごたまご</li> </ul> </div> <p>3 前時の小テーマ (ジェットコースター・メリーゴーランド・バイキング・ゴーカー) の特徴的な動きを簡単なお話にして踊る。【活用】</p> <p>○教師と一緒に踊り、簡単なお話の作り方を知る。</p> <p>4 気に入った小テーマを選び、簡単なお話にして踊る。</p> <p>○気に入った動きを選んで、簡単なお話にして踊る。</p>	<p>○全身を弾ませて踊っている児童や友達と調子を合わせて踊っている児童を称賛する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>リズムに乗って、足を上げたり跳んでみたりしてみよう!</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>友達の素敵だなと思う動きを真似してみよう!</p> </div> <p>○友達と手をつないでいろいろな動きを工夫するとよいことを伝える。</p> <p>○遊園地の乗り物の特徴をとらえて踊っている児童や、全身の動きでおおげさに踊っている児童を称賛し、そのよさを全体に伝える。</p> <p>○動きに高・低の差をつけたり、速さを変化させたりすることで特徴をおおげさに表すことができることを伝える。</p> <p>○おおむね満足できる児童には、題材の特徴を捉えた動きを友達に伝えるように声を掛ける。</p> <p>○児童の動きに広がりが出るように、口伴奏をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>今までにやった動きで、もっとやってみたいと思う物は、どんな動きかな。その動きをやってみよう。</p> </div> <p>○学習の課題を確認し、めあてに沿った活動ができるようにする。</p> <p>○教師のリードで急変する場面を入れることで、動きにメリハリをつけ、簡単なお話にして踊ることができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> <p>魔法をかけるよ。ピーリカピリララ 時間よ 止まれ ホイッ!</p> </div> <p>○題材の特徴をとらえて大げさに動いている児童を紹介し、動きを共有できるようにする。</p> <p>◇小テーマの中から、特徴に合う動きを選ぶことができたか。 【思考・判断】(観察)</p>
<p>5 クーリングダウンをする。</p> <p>6 学習の振り返りを行う。</p>	<p>○クーリングダウンをし、心と体を落ち着かせる。</p> <p>○題材の特徴をとらえ、全身を使って踊ったことや、おおげさに動いていたことなどを称賛するとともに、選んだ理由を振り返らせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○○さんは、どうしてその動きを選んだのかな。</p> </div>



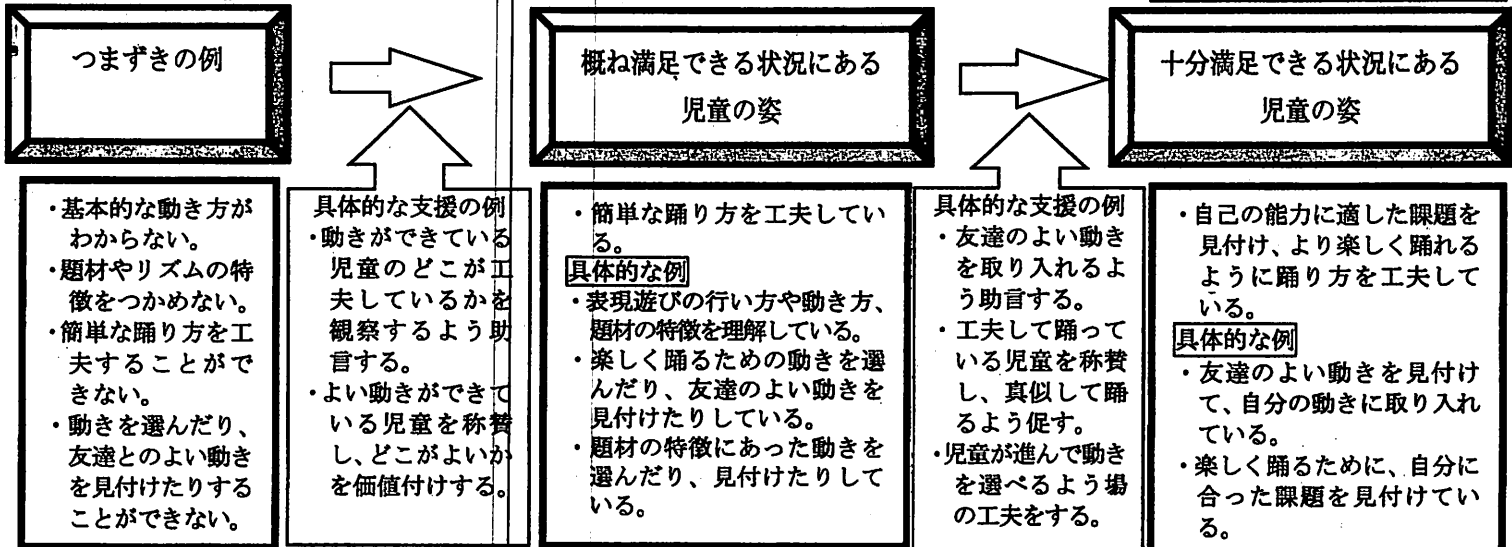
(7) 評価に至るまでの具体的な手だて  
【運動の技能】



【関心・意欲・態度】



【思考・判断】



<補助資料>

第6学年 体育科学学習指導案

表現 「大変だ！○○」（激しい感じの題材）

# 第6学年 体育科学学習指導案

日時：平成25年11月15日  
 場所：府中第十小学校  
 学級：6年3組  
 指導者：和田 廣大

- 1 単元名 「大変だ!○○」
- 2 単元の目標

技能	「大変だ!○○」から表したいイメージを捉え、即興的な表現や簡単なひとまとまりの表現で踊ることができるようにする。
態度	「大変だ!○○」の表現に進んで取り組み、互いの動きのよさを認め合い助け合って練習や発表をしたり、場の安全に気を配ったりすることができるようにする。
思考・判断	課題の解決の仕方や自分のグループのよさを知るとともに、自分やグループの課題に応じた動きを選んだり、自分やグループのよさを生かす動きを見付けたりすることができるようにする。

## 3 単元及び学習活動に即した評価規準

観 点	単元の評価規準	学習活動に即した評価規準
運動への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「大変だ!○○」の表したい感じを表現して踊る楽しさや喜びに触れることができるよう、表現に進んで取り組みようとしている。</li> <li>○約束を守り、友達と助け合って練習や発表をしようとしている。</li> <li>○運動する場の安全を保持することに気を配ろうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「大変だ!○○」の表現に進んで取り組みようとしている。</li> <li>②互いのよさを認め合い、助け合って練習や発表をしようとしている。</li> <li>③練習や発表する場の安全に気を配ろうとしている。</li> </ul>
運動についての思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> <li>○課題の解決の仕方を知るとともに、自分やグループの課題に応じた動きを選んだり構成を変えたりしている。</li> <li>○自分やグループのよさを知るとともに、練習や発表会で自分やグループのよさを生かす動きを見付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「大変だ!○○」のイメージから特徴的な動きをいろいろ見付け自分の動きに取り入れている。</li> <li>②気に入った「大変だ!○○」のイメージを選び、表したい感じを強調できるように、動きに変化と起伏をつけたり、群の動きを工夫したりしている。</li> </ul>
運動の技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「大変だ!○○」から表したいイメージを捉え、即興的な表現や簡単なひとまとまりの表現で踊ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「大変だ!○○」からいろいろなイメージを捉え、ひと流れの動きで即興的に踊ることができる。</li> <li>②イメージの表したい感じを強調するように「はじめーなかーおわり」を付けた簡単なひとまとまりの動きにして、感じを込めて踊ることができる。</li> </ul>

## 4 運動の特性・魅力

- 自己の心身を解き放し、自分以外のものになりきることが楽しい運動である。
- アイデアや工夫を凝らして動きをつくりあげていくことが楽しい運動である。
- 互いの違いやよさを生かし合って、仲間と交流して踊ることが楽しい運動である。
- 友達の表現を見て、共感したり感動したりできる楽しさのある運動である。

5 単元計画 (指導と評価の計画)

時間		1	2～4		
指導のねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>・表したい感じを表現したり、踊りの特徴を捉えたりして、踊る楽しさや喜びに触れることができるよう、表現運動に進んで取り組もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表したい感じを強調し、変化と起伏のある動きの特徴を捉えながら、踊ることができる。</li> <li>・4つの工夫を取り入れながら、自分のイメージをもち、動きを工夫することができる。</li> </ul>		
学習内容・活動		<p>オリエンテーション</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 学習課題の確認</li> <li>2 心と体をほぐす。</li> <li>3 『大変だ!○○』からイメージすることを出し合う。</li> <li>4 学習の進め方を知る。</li> <li>5 出し合ったイメージの中から、いくつか選んで即興的に踊ってみる。</li> <li>6 やってみたいの感想を出し合い、学習の見通しをもつ。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 心と体をほぐす。</li> <li>2 学習課題の確認「いろいろな『大変だ!○○』のイメージを即興的に踊ろう。」</li> <li>3 各小テーマからのイメージをいくつかみんなでやってみる。</li> </ol> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 25%;"> <p>小テーマ 「身近な生活」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・洗われる洗濯物</li> <li>・ポップコーン等</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 25%;"> <p>○小テーマ 「自然」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火山の爆発</li> <li>・猛烈な台風</li> <li>・激しい雷等</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 25%;"> <p>○小テーマ 「社会」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機械が壊れた</li> <li>・コンピュータにウイルス侵入等</li> </ul> </div> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>4 各小テーマからの好きなイメージを選び、ひと流れの動きにして踊る。</li> <li>5 ひと流れの動きを半分に分かれて見合う。</li> <li>6 学習の振り返りを行う。</li> </ol>		
教師の働きかけ		<ul style="list-style-type: none"> <li>・動きが止まってしまう児童への助言</li> <li>・『大変だ!○○』のイメージがわからない場合のイメージ例</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動きが単調になってしまう児童への助言</li> <li>・髪の毛の先から足先まで表現していく声かけ</li> <li>・4つの工夫に基づいたよい動きの視点</li> <li>・4つの工夫を意識させる。</li> </ul>		
指導する内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・題材の特徴を捉えて踊るように指導する。</li> <li>・大げさに踊るように指導する。</li> <li>・はじめとおわりのポーズをとるように指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題材の特徴を捉えて踊るように指導する。</li> <li>・はじめとおわりのポーズをとるように指導する。</li> <li>・ひと流れの動きについて指導する。</li> <li>・4つの工夫について指導する。</li> </ul>		
学習活動に即した評価規準	運動への関心・意欲・態度	③	①		
	運動についての思考・判断			①	
	運動の技能				①
工夫【方法】指導と評価の		<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察</li> <li>・学習カード</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察</li> <li>・学習カード</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察</li> <li>・学習カード</li> </ul>

5～7

- ・表したい感を強調できるように、動きに変化と起伏をつけたり、群の動きを工夫したりできるようにする。
- ・「はじめ—なか—おわり」を付けた簡単なひとままとりの動きにして、感を込め—たて踊ることができる。

- 1 心と体をほぐす。
- 2 学習課題の確認「表したいイメージが強調されるように、動きを工夫して踊ろう。」

3 表したいイメージが強調されるように、ひとままとりの動きにして踊る。

(5, 6時)

4 ペアグループで見合って、感を確かめ合い、アドバイスし合う。

5 学習の振り返りを行う。

(7時)

4 発表会の進め方を知る。

5 発表会をする。

6 単元のまとめ

- ・表したいイメージがわからないグループへの助言
- ・表したいイメージを具体的に動きにしていくための助言
- ・表したいイメージに、より近付けるための動きの工夫の助言

- ・表したいイメージを強調して踊るよう、指導する。
- ・発表会の進め方を指導する。

②

②

②

- ・観察
- ・学習カード

- ・観察
- ・学習カード

- ・観察
- ・学習カード

6 本時の学習（7時間扱いの4時間目）

(1) ねらい

【技能】 表したい感を強調し、変化と起伏のある動きの特徴を捉えながら、踊ることができるようにする。

【態度】 互いのよさを認め合いながら小テーマに取り組むことができるようにする。

【思考・判断】 4つの工夫を取り入れながら、自分のイメージをもち、動きを工夫することができるようにする。

※本時では主として【技能】を評価する。

(2) 展開

学習内容・活動	指導のポイント	評価
1 心と体をほぐす。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・軽快な曲に乗ってリーダーの真似をしながら踊ったり、友達と関わって体を動かしたりすることで、心と体をほぐすことができるようにする。</li> </ul>	
2 学習課題を確認する 「いろいろな『大変だ!○○』のイメージを即興的に踊ろう。」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までに学んだ動きを再度確認し、イメージを膨らませ踊るよう共通理解を図る。</li> </ul>	
3 各小テーマからのイメージをいくつかみんな でやってみる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">             ○小テーマ「社会」              ・大変だ!機械が壊れた              ・大変だ!満員電車だ              ・大変だ!コンピューターウイルス侵入           </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表したいイメージをふくらませる声かけをしていく。</li> <li>・題材の特徴を捉えて踊っている児童を称賛する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4つの工夫を取り入れながら、自分のイメージをもち、動きを工夫しようとしている。</li> </ul>
4 各小テーマからの好きなイメージを選び、ひと流れの動きにして踊る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選んだテーマの特徴を捉えて全身を使って踊るよう声をかける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表したい感を強調できるように、動きに変化と起伏をつけて踊ろうとしている。</li> </ul>
5 ひと流れの動きを半分に分かれて見合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4つの工夫に基づいたよい動きを見る視点を声かけしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアグループのよさを見付けようとしている。</li> </ul>
6 学習の振り返りを行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めあてに対する振り返りができるようにする。</li> </ul>	